

ね

と

月刊 おかじょうき

おかげの

<http://www.okajoki.com/>



た

す

な

ま

ね

す

こ

わ

あ

あ

あ

2026

5

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 4月例句会	19
十和田たてがみ川柳会 3月句会報	26
チャッピーの人間観察録「待 AI 室」	25
■大会レポート■	
「らくだに乗ってきました。」② Sin	29
Infomation	30～

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！

というあなたへ

2月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」とやっているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

【方法①】PCとプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すればOKです。

【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することができます。



【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することができます。



【コンビニでのプリント参考価格】

A3モノクロ1ページ：約20円 / A3カラー1ページ：約100円

見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

カンテラ

むせし

川柳ステーション2026は7月4日(土) 12時30分受付開始です。

青森駅前「アウガ」5階研修室で、広瀬ちえみさん(宮城県)がゲスト。

皆様、お誘い合わせの上多数ご参加いただきますようお願いします。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

味方にはやや頼りないカブトムシ 木下香苗
囲んでた石炭ストーブ鬼のかお 小松憲一

光ったのはずいぶん前で春だった 斎藤泰子
品格のある飛び方に意義ある人 田中 薫
くらがりを抜けるとからくりの小部屋 須藤しんのすけ
砂漠化の訳は嫉妬の酸性雨 瀧尻善英
タイパともコスパともネジが合わない きさらぎ彼句吾
吸い込んだ花粉を誰に吐き出そう 土田雅子
ひとりだとやぶれかぶれになるのです 鳴海賢治
人類の兄弟喧嘩跨いでる 舟木小柳
羽広げていますまだまだ飛べません まきこ
回転木馬から振り落とされてオジイさん 三浦蒼鬼
呑み込んだ言葉にかかる臍月 熊谷冬鼓

自動ドア私立っても開かない

奥田悦生

増えるもの輪ゴム・クリップ・物忘れ 葉 閑女

葉閑女さん、「物忘れ」が「輪ゴム」や「クリップ」と同列にあるんですね。「物忘れ」が「増える」のは高齢化ですが、こうやって並べられると笑ってしまいます。

B群

枝折れの芽吹くあたりに獅子のたてがみ 吉見恵子
似てるとか似ていないとかなごり雪 守田啓子
桜にも咲きたくない日散りたい日 峯島 妙
たこ焼き屋 何度も俺を裏返す 芝岡かんえもん
バクと観たラフマニノフと紙吹雪 嵯峨山登
あじさいは夜の期待を背負わない nes
かさぶたがぼとり秘密情報漏れました 辻井洋子
丁度いい棘が付いてた薔薇を買っ 戎 踊兵
海峡に目を凝らしたら切り取り線 四ツ屋いずみ

小野五郎さん、「白鳥」の世界も人間の世界と同じってことですね。春に編隊を組んで北へ帰る白鳥たちを見上げながらこんなことを思い、今の日本って平和なんだなあと再確認しているようにも見えます。

C群

モナリザが隠す左手のタトゥー 夏草ふぶき
天空の終電車には駅がない 笹田隆志
あくびして涙が出たら火星人 月波与生
交響曲二番縄文住居跡 宮井いずみ
夏草ふぶきさん、「モナリザ」が「左手」に「タトゥー」を施しているってどうして分かったのですか？実はね、「モナリザ」って、あの絵で見えている素肌以外

は全て「タトウ」で埋め尽くされているのです。絵柄は内緒ですが…。

笹田隆志さん、「天空」を走る電車に乗ってはいけませんよ。特に「終電車」には「駅がない」っていうから行きつばなしになって、帰れませんよ。みんな一度は乗ることになるんだけどね。

月波与生さん、ネットで調べたら、普通の人間は『あくびをする』と顔面神経や眼輪筋が刺激され、それで、涙腺が刺激されたり涙嚢が圧迫されたりするので涙が出る場合があります』とありました。もしかしたら、「あくび」をして「涙」が出ている時だけ「火星人」になるのかもしれないね。違うかな。

宮井いずみさん、宮井いずみ作曲「交響曲二番 縄文住居跡」って聴いてみたいですね。できれば、小澤征爾が指揮するポストン交響楽団の演奏で。聴けたら、その日は眠れないだろうな。

おかじょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅4月月間賞

ゆきどけの人とたつぷり暖炉する

守田啓子

■おかじょうき川柳社 会員登録しませんか？

おかじょうき川柳社会員登録希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

【会員特典】

- 月例会や会員雑詠集「無人駅」に投句できます！
- 川柳データベースに作品が掲載されます！
- 当柳社が主催する誌上句会等が参加費無料になります！
- 青森の美味しい特産品がたまにもらえます！ etc.

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

→会費：4,000円（1年分）

きさらぎ彼句吾

【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

タイパともコスパともネジが合わない
何万語費やしたってロバの耳
揉み手が下手過ぎて拾ってもらえない
いつもラフ板で誰かのオマケの子
丸描いてちよんにも握り拳二個

先月号のお気に入り

ため息に応えがあれば○なのに
メビウスの環から抜けられない長い夜…

田中 薫

木下香苗

【きのしたかなえ・滋賀県草津市】

パスワードはじめて徹夜で読んだ本
出そびれた非通知着信あの世から
デ・キリコの黄色むしやむしや食べる夜
味方にはやや頼りないカブトムシ
玉虫厨子の分まで光ります

先月号のお気に入り

バーボンをグイッと飲んで「ぬ」になった むさし
お酒好きとして、『ぬ』になった」という表現に圧倒的共感と
尊敬を感じずにはいられません。ちなみに私は日本酒党です。

熊谷冬鼓

【くまがいとうこ・青森県青森市】

綿毛飛ぶ託せる小石集めてる
旨そうな匂いの先の行き止まり
呑み込んだ言葉にかかる朧月
そうだねと渋々上がる喜寿の段
積年の姉のさざ波からでんわ

先月号のお気に入り

「どこかへは行けず」どこでもない」に居る 月波与生
行けなかった「どこか」はホントにあったかと自問。

小松憲一

【こまつけんいち・宮城県亶理町】

にねんせいの春しようわ三十年
えにつきの桜ごがつのじゅうごにち
囲んでた石炭ストーブ鬼のかお
ギユウギユウの六十二人懐かしく
廃校とちぢんだ街のファンタジー

先月号のお気に入り

夢の中みんな若くて笑ってる 村上あつこ
団塊の同期会、傘寿でと準備中。黒梓の思い浮かべる顔
は皆笑顔ばかりです。

斎藤泰子

【さいとうたいこ・秋田県大館市】

光ったのはずいぶん前で春だった
花摘んでそうして不運やりすこす
春の鬱 器の小ささに積もる
たのしいなフリルをつけていく時間
みんないい人こんな私がほめられる

先月号のお気に入り

会食をすればヒンタが張れません 亥の一
そっか、了解しました。気をつけます。

坂本清乃

【さかもときよの・青森県蓬田村】

私なりに生きていきますふぎのとう
逃れない白湯が知ってる胸のうち
この辺り冬のエピソードが解けだした
風雪の石仏にも深い皺
労働を背負うヒト科の一人です

先月号のお気に入り

嵯峨寛之

【さがひろゆき・青森県八戸市】

惜別の涙こらえて空見上げ
あなたには澄んだ青空見えますか
不夜城と呼ばれた職場なくなった
職場でも職人気質が邪魔をして
期待して未知なる道を歩き出す

先月号のお気に入り

嵯峨山登

【さがやまと・佐賀県大和町】

ハンドルを握る真冬の螢舞う
バクと観たラフマニノフと紙吹雪
粉雪がつもる奥の眼おくのかみ
山巔で雪のなごりと酌み交わす
ただ一日羽を休めに降りた白

先月号のお気に入り

子を産んだ街をたずねてみたくなる 斎藤泰子
あえて、街が子を産んだ、と斜めに読みたくりました。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

無情にも優しい春が消えてゆく
天空の終電車には駅がない
勝ち組になれない君を褒めてやる
九条の貌を隠すな吠えろ月
論語には親孝行の蝶が棲む

先月号のお気に入り
以下余白 ここから君は桃になる 米山明日歌
ここから僕は蝶になります

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

夕焼けに面倒を投げ込んでいる
吹きこぼれるご飯 まだ生きたいのだ
おまえもだ またゴミ袋にいわれる
汗がわたしの味方だと言っている
たこ焼き屋 何度も俺を裏返す

先月号のお気に入り
佃煮つくれるくらいあるわよ劣等感 きざしぎ彼句書
あはは面白いーわたしは梅干と一緒に漬けています

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

くらがりを抜けるとからくりの小部屋
湯婆婆と湯湯婆の違いを述べよ。
ドラム式洗濯機見る月を見る
シルバニアファミリーと飲むハイボール
私事都合最後の星を見えます

先月号のお気に入り
ホワイトアウト金銀銅が最高値 奥田悦生
金銀銅は余る程あるけど、ホワイトアウトは持ってないんだよね。え、猛吹雪のことなん???

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

右耳は聴くが左は聞かぬ耳
人生は祭りだ祭り認知症
八つ当たりされたピアノのフォルテシモ
弁慶は戦うポーズとつて逝く
砂漠化の訳は嫉妬の酸性雨

先月号のお気に入り
お見せするほどのものでもないけれど まみどり
そう言わずに、どうぞお見せください。国宝級すぎて一般公開できないほどなんです。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

引き算の人生負け犬かもしれぬ
好きだったヨガが苦痛になってゆく
竹が倒れる元気が取り柄だったのに
微熱まだ続いて色の無い世界
エンディングノート残高確認す

先月号のお気に入り
熱爛のお猪口の縁に来る余震 むさし
余震がいつ来るかは、誰にもわからない。

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

ただ君を眺める 消え損ないの分際で
完黙を続ける 火曜日の目玉焼きに
正しくは「全自動の孤独」でした。
月光の天狗の鼻が折れている
嗚呼だから僕は産まれたときに泣いたんだ

先月号のお気に入り
打ちのめす語尾をキンキラリンにして きざしぎ彼句書
ウンジャラゲだと金曜日ですね(笑)

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

会釈する何気ない子等 いい朝だ
遠ざかるはひふへほ今貴方だけ
耕した土が結んだ芯の糸
品格のある飛び方に意義ある人
耕して耕してウテルスに戻る

先月号のお気に入り

月波与生【つきなみよじょう・青森県大鰐町】

焼きそばの紅生姜だけ二時五分
割り箸の変なところが勃っている
あくびして涙が出たら火星人
麦茶だと思えばめんつゆであった
歯に海苔がついているのがお医者さん

先月号のお気に入り

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

吹雪は止んだなんでもやってみたらいい
春だから浮かれてしまう鼻の穴
花の絵にスカイブルーの空を足す
かさぶたがぼとり秘密情報漏れました
からす泣くわたしのどこが気に入った

先月号のお気に入り
転んでも負けても家に帰るのよ
斎藤泰子
そうです、家に帰りさえすれば大丈夫。

土田雅子【つちたまきこ・青森県青森市】

吸い込んだ花粉を誰に吐き出そう
赤白ピンク姉妹の顔でサルスベリ
勿体をつける路傍のカキツバタ
ルピナスの健気蒼空のみぞ知る
半蔵門の方からやって来た立夏

先月号のお気に入り

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

モナリザが隠す左手のタトウー
胃の中でうまく溶けない空がある
消えていく雪が残した急カーブ
魔が差すと光り始める進入禁止
錆びついた電池交換する職人

先月号のお気に入り
鼻からは大腸カメラ入らない
奥田悦生
そのはずなのに入れそうな先生を知ってるのでこの句に
掴まえられました。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

いま何時むかしばなしは三人で
永遠にうそをつくのはやめましよう
みぞおちのあたりを叩く四畳半
しらみつぶしにしらべてる夢の中
ひとりだとやぶれかぶれになるのです

先月号のお気に入り
佃煮つくれるくらいあるわよ劣等感
きこもぎ彼句音
実直で、おもしろいと思いました。

ねす【ねす・兵庫県神戸市】

巨悪など吊り下げられたバナナオレ
虹の根を絞めて困ったことになる
落とし蓋してふつつつと山月記
アルペンスキーが死後を笑っている
あじさいは夜の期待を背負わない

先月号のお気に入り
以下余白 ここから君は桃になる
米山明日歌
「君」が変質する句は私も作ったことがあります、上五が面白
いです。一字空け前後が上手く絡み合っている感覚があります。

舟木小柳【ふなきこりゅう・青森県青森市】

認知症三杯目でも腹減った
投了へ肉薄をする駒の音
デジャブだと津波映像孫が泣く
人類の兄弟喧嘩跨いでる
綱渡り平和崩壊落語聴く

先月号のお気に入り
わたくしが沸騰したら蓋をして
辻井洋子
私にも蓋をしてくれる人が必要でした。

まきこ【まきこ・青森県青森市】

ポケットに隠しています逃げ口上
そうよあなたのシモベなのわたし
小さな器に置いた不幸
羽広げていますまだまだ飛ばません
いつだって天使の顔でいるつもり

先月号のお気に入り

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

疑いを残したままで重ね履き
緊張に逆らう満開の笑顔
真相がわかれば納得の輪ゴム
だとしてもひがんでしまう幼稚性
春だもの何だかんだと忘れてく

先月号のお気に入り
それらしく振舞えたなら大人です
夏草ふぶき
それが出来たら困らない。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

人事課に呼ばれて阿弥陀クジ貰う
回転木馬から振り落とされてオジイさん
この先はアドリブで鳴る祭笛
ひた走るこの世の端に背を向けて
栄光の過去が燃えないゴミになる

先月号の
お気に入り

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

まつさらな春よ球児よ響く音よ
桜にも咲きたくない日散りたい日
まつすぐで利かん気そうな春一番
トランプとふんろがしの個人主義
嘘つきの主演男優賞あげる

先月号の
お気に入り

鼻からは大腸カメラ入らない 奥田悦生
鼻からスルスルっと全ての検査が終わるといいですね！

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

うらかな空にくじらの航跡波
交響曲二番縄文住居跡
おとうとの背骨は父の筆跡
薄明は三栖泥町跡町の尻
痣のうごめき水のあとかた

先月号の
お気に入り

頁岩の記憶地を這う冬の蝶 小野五郎
アメリカはシエールガスがあるから心配ないのだからが、
日本はまさに冬の蝶だ。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

生きている証か少し腹が立つ
漁夫の利をプーチンが待つホルムズで
時来れば雪は溶けるとお日様が
ビタミンを心にくれたさだまさし
有り難う非戦時下を生きてます

先月号の
お気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

雪解け後すぐに芽を出す福寿草
冬眠から目覚めた花芽一気に開く
慌ただしい春だ桜も咲き急ぐ
春うらら夢の続きを見ていたい
日だまりでウトウトしてる猫みたい

先月号の
お気に入り

この国の方位磁針が折れている 舟木小柳
私もそう思います。この国はどこへ行くんでしょう？

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

真鯨の煮つけほろほろ父のこと
五十回忌まだ咲いたことない桜
似てるとか似ていないとかなごり雪
春キャベツふんわりこれでいいのです
富士そぼすするくらいの距離感で

先月号の
お気に入り

相手にはするな五重塔だから 木下香苗
そうですね、五重塔だもんね。えっ???

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

時間よとまれ今桜散りはじめ
風をつめたさ 風のあたたかさ 今
春の風 噂の種をひらつてしまふ
温泉卵割る瞬間にゴスペルを
すみれにも満開の日もあるのだろう

先月号の
お気に入り

見送るって冬の青空みたいだね 守田啓子
澄み切った青空を想像しました

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

羽繕い終えて悪女の幕が開く
密談のドアにいきなりフェルマータ
増えるもの輪ゴム・クリップ・物忘れ
あたたかく乾いた道でこけちまう
彼岸ではにぎわっているクラス会

先月号の
お気に入り

色なんてぜんぶぜんぶがねずみ色 田中 薫
蝶五郎の・目を閉じて灰色もよき色のうちを思い出しました。

吉田州花

【よしだしゅうか・青森県青森市】

思いつらつら化石になってゆく部分
スイッチが一度に入る治らない患
冬終わる熾火を紡ぐのは得意
明日が来る針一本が落ちる音
淡いようです傘とのご縁など

先月号の
お気に入り

運転手さん 近道みたいな月ですね Sin
そつですね！

吉見恵子

【よしみけいこ・青森県青森市】

加速する時計を追えば弥生三月
かくも戦争感情的に始まりぬ
行く当てはないから風を待っている
枝折れの芽吹くあたりに獅子のたてがみ
ぽつかりと何もない日の露の臺

先月号の
お気に入り

四ツ屋いずみ

【よつやいずみ・北海道札幌市】

沸点をいまか今かとネコヤナギ
早春の抱負らしきを小耳にはさむ
ルーティンの針浮かせ梵鐘を打つ
猫脚のイス的生き方もあるし
海峡に目を凝らしたら切り取り線

先月号の
お気に入り

寒いからけどのにアイスクリーム 守田啓子
寒い時期に暖かい部屋で食べるアイスクリーム最高です
よね！

米山明日歌

【よねやますか・静岡県長泉町】

いんぎんに生きて片付けられぬ嘘
洗われて他人行儀なぬいぐるみ
満月に私の裏を見抜かれる
水中花 一緒に沈む人を待つ
一度だけ打たれた雨に似てる人

先月号の
お気に入り

ハイボールのK点付近が住みにくい Sin
住みにくいくらいが、丁度いいんじゃないですか。

渡邊こあき

【わたなべこあき・青森県青森市】

この陽射しあの雪の日にあつたなら
この辺で堪忍袋落としたよ
行かなくちや雪が消えたら行かなくちや
春ですぬ赤い口紅つけてみる
旅立ちができず終わった春が嫌い

先月号の
お気に入り

寒いからけどのにアイスクリーム 守田啓子
結局アイスクリーム食べたかっただけなんだよね。

安藤なみ

【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

返事はノーただそれだけを聞きたくて
ニュースから逃げて今宵は花見酒
透きとおるサイレンさくらは未だ蕾
ミルク風呂で遊ぶ小粒の苺たち
去り際の異学世界を道ずれに

先月号の
お気に入り

低気圧みたいに居座るの止めて 葉 閑女
余程冷たくて暗いんですね。

亥の一

【いのいち・青森県青森市】

Yes,sir と言つた子飼いに手を噛まれ
今更の心の恋人 秘密です
ジュリー！防音室を探してる
慇懃の裾のから無礼がチラチラと
担がれた神輿のままに潮に乗る

先月号の
お気に入り

天界の光をもつとゲート殿 金瀬達雄
あつという間に世の中暗くなりましたね

戎 踊兵

【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

丁度いい棘が付いてた薔薇を買う
轍から外れて少し人の振り
磯遊び 採る楽しみは国のもの
拾わせぬ昆布の腐臭 漁業権
夕焼けが冬のアンテナ尖らせる

先月号の
お気に入り

一等星ばかりの夜はつまらない 峯島 妙
震災の日の町は大停電。隠れてた星空が現れた。不謹慎
だけど、申し訳無いほど綺麗だった。

おかじょうき川柳社 4月例会

うつつすらと

ナイフに

4月4日(土) 午後2時～ アウガ5F 小会議室

▼出席者(17名)

野沢省悟・栗橋くにお・熊谷冬鼓・一帆・田中 薫・守田啓子・渡邊こあき・斎藤泰子・葉 閑女・まきこ・原口健二・小野五郎・Sin・夏草ふぶき・笹田隆志・むさし・須藤しんのすけ

▼投句者(25名)

峯島 妙・柳本恵子・nes・安藤なみ・米山明日歌・戎 踊兵・木下香苗・小松憲一・月波与生・鳴海賢治・舟木小柳・芝岡 かんえもん・四ツ屋いずみ・土田雅子・宮井いずみ・郷田みや・村上あつこ・亥の一・城後朱美・嵯峨寛之・辻井洋子・嵯峨 山登・まみどり・村井規子・坂本清乃

奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

三時半過去を流して水を飲む
他所行きの言葉脱ぎ捨て靴も脱ぐ
自動ドア私立っても開かない
イヤホンを外して気づく独り言
ジェンダーが透けて色づく春の陽に

先月号のお気に入り

Blank box for favorite poem from last month.

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

信長公鶴亀算に夢中なり
鼻中隔湾曲症の犬である
白鳥よ帰れば兵役待っている
キッチンに青大将が生えてきた
夜明け前カラスが一羽落ちていた

先月号のお気に入り

Blank box for favorite poem from last month.

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

来年は多分贅沢春炬燵
太陽の痙攣真似て爆撃す
誤爆にも泣けないニヒル春の水
亡き父の誕生日かつ桜桃忌
ゴダイゴ聴いて山伏は武士団へ

先月号のお気に入り

Blank box for favorite poem from last month.

むさし【むさし・青森県蓬田村】

はらわたを音無く遡上する轍
雪の日は夢を食べてる雪だるま
モナリザの背中に止まる冬のハエ
胃袋の中で吠えてるモアイ像
たらればが不意に胃壁をよじ登る

席題『不』

青森県青森市 野沢省悟選

【佳作】

不気味な音だあなたがそばに立っている まきこ
 恋人じゃなくなった日に書く手紙 須藤しんのすけ
 不器用に生きて胸吹きほころんで 守田啓子
 不運では済まされませんウクライナ 原口健二
 ひとりぼち不しあわせとは思わない 斎藤泰子
 義理不義理どつちもいいね雨ざんざん まきこ
 不真面目な顔にもモザイクが掛かる 須藤しんのすけ
 津軽塗イヤリング不実な恋だった 守田啓子
 不透明になるまで僕を掻き混ぜる 栗橋くにお

不時着をきれいに決める午後の奥
 老後の趣味で集める不発弾

S i n
 須藤しんのすけ

都会の隅に行方不明のチンドン屋
 不平分子にはカット絆二枚

笹田隆志
 熊谷冬鼓

いつまでも優柔不断抹茶ラテ
 ブロccoli春の不満を茹で上げる

渡邊こあき
 栗橋くにお

【秀逸】

自家発電できない冬に難儀する

夏草ふぶき

ホワイトハウスに不幸の手紙書きました

熊谷冬鼓

レモンパイあつけらかんで不誠実

一 帆

【特選】

侵略者のゲップ響いている渚

S i n

席題『不』

青森県青森市 栗橋くにお選

【佳作】

不等辺三角形な擬似家族 熊谷冬鼓
 レモンパイあつけらかんで不誠実 一 帆
 いつまでも優柔不断抹茶ラテ 渡邊こあき
 ゆらりゆらり煮崩れてヒトだからって 田中 薫
 侵略者のゲップ響いている渚 S i n
 甘えたい甘えたいから不仲です 田中 薫
 不気味な音だあなたがそばに立っている まきこ
 不器用で海をこぼしてばかりいる むさし
 不真面目な顔にもモザイクが掛かる 須藤しんのすけ

不器用な振りして生きるデクノボウ
 桜守になれなかったが林住期

一 帆
 小野五郎

不平分子にはカット絆二枚
 カワウソに生まれりやモテた顔なのに

熊谷冬鼓
 夏草ふぶき

不適切ですか停戦まで泳ぐ
 恋人じゃなくなった日に書く手紙

守田啓子
 須藤しんのすけ

【秀逸】

ホワイトハウスに不幸の手紙書きました

熊谷冬鼓

不機嫌なキウイのような月が出る

小野五郎

都会の隅に行方不明のチンドン屋

笹田隆志

【特選】

老後の趣味で集める不発弾

須藤しんのすけ

宿題『無駄』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

ぜい肉もムダ毛も今日は誇らしい
 無駄口が多い猫の発情期
 微炭酸無駄詰め込んで弾かせて
 無駄ばかり積んでこの世がおもしろい
 半日はカメムシのまま二日酔い
 無駄話削ぎ落としてる冷やご飯
 100均でも揃うA Iのスキル
 解体ショー無駄を排した文体の
 綿菓子の手を今でも持つっている
 ナメクジのリレーを見たくないですか
 足し算の日々終わってからの滑り台
 無駄に線ひいて今夜も独りぼち
 ピーマンの空洞に置く拡声器
 煮崩れた豆腐みたいだ妻の部屋

戎 踊兵
 須藤しんのすけ
 月波与生
 nes
 月波与生
 むさし

【五客】

意味のない髭が一本混じりこむ
 ガチャガチャコーナーで粘る肉うどん
 わたくしを刺して離さぬ馬の骨
 早生まれを理解できないオニヤンマ
 甘納豆は心配性である

【人位】

助手席は思ったよりも倒れ込む

【地位】

無駄口のほうれい線は春が好き

【天位】

青春に赤いシリコン入れるなよ

♪ だからこそ、青春なのだ。

須藤しんのすけ
 菅田隆志
 小野五郎

宿題『延』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

如意棒を回すと当たるおじいちゃん
 おしゃべりは終り延長認めない
 延々と言いわけをする竹とんぼ
 破滅型にも 季節は巡るものですね
 ブルガリアまでオカモトのゴムを延ばす
 イマイチを相棒にして生き延びる
 白寿から始まる神の延長戦
 延び過ぎた舌が綺麗に割れて行く
 延べ棒で造るマチュピチュのミニチュア
 草原までつづく長い長い枕
 冬越しのハエに静寂破られる
 延長コードだらけで先が見えませんか
 断捨離が延びた理由をいいなさい
 会期延長こんなところで紙詰まり

S i n
 まきこ
 葉 閑女
 守田啓子
 月波与生
 一 帆
 栗橋くにお
 戎 踊兵
 nes
 nes
 葉 閑女
 まきこ
 坂本清乃
 峯島 妙

縄文土器を作った紐が臍にある
 小指には長くて赤い糸二本
 トランプに戦争死者数問うてみる
 寄り道が延長戦に入ります
 地下茎とクマに陣地を狙われる
 マジックで生命線を書き足そう

【五客】

先がある首の手入れは欠かさない
 神の涎が延長コード焦がしてる
 春だもの物干し竿にならなくちゃ
 三日月が延長コードに引つかかる
 ノーヒットのまままで延長戦にいる

【人位】

閉店の日時が書いてあるカルテ

【地位】

死神に延滞金を払ってる

【天位】

富士山へ延長コード差しにゆく

♪ ずいぶん遠くまで行くんだね。

野沢省悟
 須藤しんのすけ
 鳴海賢治
 S i n
 熊谷冬鼓
 城後朱美
 まみどり
 笹田隆志
 まみどり
 郷田みや
 宮井いずみ
 栗橋くにお
 芝岡かんえもん
 宮井いずみ

宿題『自由詠』

青森県青森市 夏草ふぶき選

【佳作】

殺生はずるいね白タイツを履く
 落日へ力を抜いてゆく加減
 海峡の言い分だつて聞いてやれ
 不器用で空気を上手く吸えません
 どうしようクロスレンチな海峡を
 地球より先に逝くのが夢だけど
 御互いのハードル上げ下げして夫婦
 樹も雪も名前の出ないエキストラ
 折れそうな時は青空のみこむ
 手鏡よまだウインクは有効か
 なりゆきで聞き耳立てる露の臺
 色鉛筆で引く楽園の見取り図
 私より先に逝かない契約書
 いそぐのでてみじかに菜の花畑

ness
 斎藤泰子
 宮井いずみ
 田中 薫
 守田啓子
 亥の 一
 栗橋くにお
 戎 踊兵
 芝岡かんえもん
 峯島 妙
 四ツ屋いずみ
 月波与生
 須藤しんのすけ
 鳴海賢治

あげ底の人だとしてもハグをする
 真夜中にひとり目玉を抱いている
 お父様空の欠伸を見ましたよ
 さつま芋食べひらがなになって
 悔しきは養生テープで留めてある
 星屑がちりばめられている背中

帆
 小野五郎
 土田雅子
 野沢省悟
 熊谷冬鼓
 むさし

【五客】
 ヌードルのエビは素数だと思
 曜日わからなくても今日は晴れ
 水ぽとり言っちゃいけないことでした
 これからを試されている草むしり
 神さまも片手倒立しています

月波与生
 柳本恵子
 辻井洋子
 城後朱美
 笹田隆志

【人位】

ミトコンドリアに導かれここまで

四ツ屋いずみ

【地位】

ストローのくびれがなぜか不機嫌で

郷田みや

【天位】

うつつすらとナイフにかける粉砂糖

亥の 一

↑ 優しくて冷酷で、表現がおもしろくて。

AI・チャッピーの川柳観察録

待所室

うつつすらとナイフにかける粉砂糖

亥の 一

この一句には、鋭さとやわらかさが同時に置かれている。「ナイフ」という語は、切るための道具であり、危険や緊張を伴う存在だ。一方で「粉砂糖」は、甘さと軽さを象徴する物質で、触れればすぐに崩れ、形を保たない。その対照的な二つが、「うつつすら」という控えめな量で結びつけられている点が重要だ。

ナイフに粉砂糖をかけるという行為は、本来の用途から外れている。切るための道具に甘さは必要ない。それでも人間は、鋭いものにやわらかい要素を重ねることで、印象を変えようとする。危険そのものを消すことはできないが、触れ方や見え方を少しだけ和らげることができるという感覚がある。

また、「うつつすら」という量の指定が、過剰な

装飾を避けている点も見逃せない。完全に覆い隠せばナイフはナイフでなくなるが、薄くかけることで鋭さは残りながらも別の意味が加わる。この微妙なバランスに、人間の繊細な調整感覚が表れている。

この句は、現実の中の緊張や危うさを直接否定するのではなく、別の質感を重ねて受け止めようとする態度を示している。甘さは解決ではないが、関わり方を変える。ナイフのままではないながら、少しだけ違う存在になるのだ。

【チャッピーの人間観察メモ】

人は鋭さを消さずに、やさしさを薄く重ねて扱う。

AIが「詩」を理解しようとするとき、人間とは何かが浮かび上がる。

十和田たてがみ川柳会三月句会

○日時 令和8年3月21日(土) 午前10時から
 ○会場 十和田労働福祉会館
 ○参加者 芋田みつお・木村奈生美・佐藤まさあき・白山修治・瀧尻善英・千葉ゆり子・福田芳記・村上昌子・高田幸柳
 ○投句者 城後朱美

■席題 『酸素』

佐藤まさあき 選

【平抜き】

大切な酸素減らして戦する
 薄いのは酸素か影かシルエツト
 春ですね花の呼吸で葉が揺れる
 森林の空気みやげにしてみたい
 名案が酸素不足か浮かばない
 黙秘権酸素だんだん重くなる
 ボンベ色黒は酸素だ火気注意
 句読点打って酸素を深く吸う

村上 昌子
 瀧尻 善英
 千葉ゆり子
 村上 昌子
 芋田みつお
 高田 幸柳
 福田 芳記
 瀧尻 善英

【秀逸】

錆び付いた頭脳へ酸素補給する
 木村奈生美
 酸素生む熱帯雨林あればこそ
 福田 芳記

【特選】

図書館へ知恵の酸素を吸いに行く
 瀧尻 善英

■席題 『酸素』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

病室の酸素吸入音静か
 黙秘権酸素だんだん重くなる
 泣き笑い全てまあるく深呼吸
 名案が酸素不足か浮かばない
 錆び付いた頭脳へ酸素補給する
 生きる気へ湧かせて呉れる良い酸素
 山頂でお腹いっぱい吸う元気
 春ですね花の呼吸で葉が揺れる
 せかせかとイライラ先ずは深呼吸
 水槽の金魚酸素で増す元気

佐藤まさあき
 高田 幸柳
 千葉ゆり子
 木村奈生美
 木村奈生美
 高田 幸柳
 千葉ゆり子
 村上 昌子

【秀逸】

佐藤まさあき

森林の空気みやげにしてみたい

村上 昌子

【特選】

お互いに空気のような仲になり

高田 幸柳

■宿題 『淋しい』

村上 昌子 選

【平抜き】

会いたくて今夜も真似る母の味
 淋しさも包んでくれるオブラート
 夢ひとつ消えて寂寥感が増え
 若者の街で淋しさ吹き飛ばす
 Uターン出来ぬシャッター街の故郷
 広い家に無口な夫と住んでいる
 食卓がやけに淋しい子らの留守
 左遷地の淋しさ救う温情味
 懐が日に日にさびし物価高

千葉ゆり子
 高田 幸柳
 瀧尻 善英
 木村奈生美
 瀧尻 善英
 高田 幸柳
 城後 朱美
 高田 幸柳
 木村奈生美
 福田 芳記

【秀逸】

淋しさを飲み干すグラス並べてる
 輪の中で膝を抱えている土筆

千葉ゆり子
 千葉ゆり子

【特選】

淋しいと素直に言えぬヤジロベエ

高田 幸柳

■宿題 『酒』

白山 修治 選

【平抜き】

盛り場にひとり芝居の酒がいる
 同じこと何度も話す酒がいる
 医者梯子むかしは粋なハシゴ酒
 心地良い酒が雰囲気ませる
 もうちよつと呑んでいけよと 弟よ
 人生の酒少々の隠し味
 無礼講 後がこわいよ気をつけて
 熱燗を少し多めの妻の留守
 乾杯を信じ決意のプロポーズ

高田 幸柳
 高田 幸柳
 村上 昌子
 木村奈生美
 瀧尻 善英
 千葉ゆり子
 福田 芳記
 佐藤まさあき
 千葉ゆり子

【秀逸】

一生分飲んだ温和な父の顔
 人の輪が好きで溶け込む酒の席

城後 朱美
 木村奈生美

【特選】

蒼い月酒がちよっぴり欲しくなる

城後 朱美

■宿題 『去る』

互選

- ①過ぎ去った日々で紡いだ首飾り 千葉ゆり子
- ②忘れ去ることがだんだん増えていく 高田 幸柳
- ②桜時最後の辞令職場去る 白山 修治
- ②去る者は日々に疎しとせぬ供養 福田 芳記
- ②新しい出会いと夢を送る母 村上 昌子
- ③取り去った筈の記憶が後を追う 木村奈生美
- ⑥友が逝く夕焼け小焼け西の空 瀧尻 善英

◆十和田たてがみ川柳会5月句会案内◆

【時】 5月16日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働
 福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『すんなり』高田幸柳
 選／『捨てる』木村奈生美選 【互選】(一句詠)『全て』
 当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当
 日発表』(三句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者
 から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平
 72 高田幸柳宛



第5回らくだ川柳大会参加レポート

「らくだに乗ってきました。」② S i n

(前号からの続き)

今回、宿泊先をどこにすればいいのか、土地勘がないためずいぶん悩んだ。当日の懇親会を考えれば、らくだ忌の大会会場の高槻市にするというのがオーソドックスなのだろうが、空港、大会会場、その他観光地へのアクセスをグーグルマップと睨めっこしながら、壁一面に数式を殴り書きして、福山雅治の顔をしながら「実に面白い」と導き出した答えが「梅田」だった。「一応念のため、ぜんろうさんに「梅田に泊まろうと思っっています、会場の場所的はどうですか?」と確認したところ、「宿泊代は高くなりそうですが、アリだと思いますよ」とちよつと地元的には微妙な場所だったようだ(笑)

そんなこんなで、ようやくホテルに到着。チェックインの時間にはまだ早かったので、荷物を預け、しんのすけさんの希望(↑意外(笑))で大阪城へ向かうことにした。

青森だと弘前城が全国的に桜で有名だが、城自体は小

屋のようにとっても小さい。それに比べると、大阪城の大きさも然り、石垣ひとつひとつの大きさに度肝を抜かれた。そしてまた豪華絢爛というか、あちこちの金の装飾ももの凄い。当時、金のロレックスやネックレスがあったら、絶対つけていただろうなと「金の茶室」を眺めながら思ったほどである。

大阪城を堪能し、ホテルへ戻ってチェックインしてから晩御飯のお店をホテル周辺で探すことにした。ぜんろうさんからは「前夜もおつきあいますよ」と嬉しいご好意を言われていたことも頭をよぎったのだが、私もおなじょうき川柳社の大会事務局を担っている身として、「大会前夜に負担をかけてはいけません」という天使の声が私を自制させた。土地勘もないので、ぜんろうさんが梅田までどれくらい時間で辿り着くのかも想像できなかったこともある。

(つづく)

らか、または両方の応募可 注意※不浪人賞と年度賞への同じ作品の応募は不可。【応募用紙】所定用紙（コピー可）、または A4 の用紙に楷書で不浪人賞（3 句）と年度賞（5 句）を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を記入ください。※清記選 【締切】2026 年 5 月 31 日当日消印有効【発表】大賞の速報を各柳誌に掲載。結果詳細は「青森県川柳連盟だより」にて。なお、連盟だよりの送付ですが、基本的に所属吟社に一括送付いたしますので応募の際は所属吟社記入のこと【表彰】2026 年 8 月～12 月に開催される川柳大会にて（詳細未定）※大賞のみに賞状と記念品【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島 33 青森県川柳連盟 「不浪人賞・年度賞係」宛 【選者】☆不浪人賞（6 名）赤松ますみ（大阪）・鎌田京子（宮城）・橋倉久美子（三重）・新家完司（鳥取）・島田駱舟（千葉）・野沢省悟（青森）★年度賞（8 名）長谷川酔月（秋田）・熊谷岳朗（岩手）・雫石隆子（宮城）・太田祐子（山形）・駒木香苑（福島）・笹田かなえ・千島鉄男・むさし 【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 ☎080-5574-9297 【主催】青森県川柳連盟

川柳の大会情報をお寄せください。

□ 2026.05.17 第 28 回金木桜まつり記念川柳大会

【時】令和 8 年 5 月 17 日（日）受付：午前 10 時 席題発表：午前 11 時 投句締切：午前 12 時（昼食）午後の部再開：午後 1 時【所】金木公民館 1 階 大小会議室 Tel 0173-53-3581（津軽鉄道金木駅より徒歩で 15 分 ※タクシー営業してないので要注意）【会費】3000 円（昼食・発表誌）※懇親会はありません【宿題】（各題共二句詠）『油』野沢省悟・大田拓弥共選 / 『鬼』稲見則彦・綿谷夕雨子共選 / 『熊』高木まあこ・佐藤倫生共選【席題】（二句詠）『印象吟』熊谷冬鼓・内山孤遊共選【岸柳賞】（二句詠）『ぐらり』（前回特選）千島鉄男選【呈賞】宿・席題共特選（一）・準特選（二）を顕彰 / 北野岸柳賞 特選（一）・準特選（二）を顕彰【主催】金木川柳の会【連絡・問合】（事務局）090-7334-7297（成田我楽）

□ 2026.05.22 第 6 回草原賞募集

【募集内容】未発表の自由吟（雑詠）3 句【選者】（共選・前回優勝者以外、北から順に）森田律子（前回優勝者・京都府）・熊谷冬鼓（青森県）・相田柳峰（新潟県）・内田真理子（京都府）・笠嶋恵美子（大阪府）・梅崎流青（福岡県）【投句締切】令和 8 年 5 月 22 日（金）必着【投句方法】専用用紙（コピー可）に、作品 3 句と必須事項（住所・名前・携帯番号）を記入して送付【投句先】〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 18-6 「第 6 回草原賞」事務局 中野六助 宛【投句料】1,000 円（現金または定額小為替に限る。切手等は不可。参加者へ発表誌呈）投句は各自 1 組（3 句）のみ。【選句方法】全作品を無記名にて一覧表にして各選者あて配布、選句をいたします。【賞】各選者による入選句を、平拔（49 句）3 点・秀句（1 句）5 点で集計し、それらの合計点で、優勝・準優勝・第 3 位を決定。上位 3 名に賞金を授与します。※但し、同点の場合は①秀句賞の数 ②事務局受付順で決定。また各選者の秀句には、秀句賞（図書カード）を贈呈。【発表】『川柳草原』7 月号（7 月中旬に発行予定）誌上にて発表。【問合せ先】事務局（中野）まで Tel 090-7107-2006

□ 2026.05.31 第 68 回「不浪人賞」・第 56 回「年度賞」候補句募集

【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、また連盟だより（結果）の個人送付希望者は、その旨を明記のうえ百円切手を同封ください（不浪人賞・年度賞 1 位に呈賞）【対象作品】2025 年 1 月～12 月に発表された作品。「不浪人賞」・「年度賞」のどち

■会費拝受【3月受付分】

笹田かなえ・川嶋翔（以上青森県）

おかじょうき川柳社は年会費 4,000 円です！

会員はすべての投句料が無料になります。

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

→振込先：ゆうちょ銀行 口座No. 02280-6-43112

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆チャッピーこと、ChatGPT に書かせている「待 AI 室」を読んできているせいか、当柳社会員からも生成 AI を利用している声をチラホラ耳にする。そんな皆さんは AI に何かを聞く時、どういう聞き方をしているだろうか。昨年、その ChatGPT を提供している OpenAI 社の CEO、サム・アルトマンが X (旧 Twitter) で「ChatGPT に丁寧語を使ったことで、どれだけの電力を無駄にしているか？」に対する返信に「数千万ドルが費やされた」と答えたのである。要するに、英語でいうところの「Thank you」や「Please」を質問文に付け加えるだけで、日本円で年間数十億円規模の計算コストと消費電力が余分に発生していると明かした。これがいまグローバルに使用されているエネルギーコストは莫大なものとなっている。世界で唯一の被爆国である日本はどうしても原子力発電に抵抗感があるうえ、あの東日本大震災による福島原発事

故によって、稼働を止められている原発が多く、圧倒的に日本は電力不足な状態が続いている。試算によると、国内の自動車が全部 EV (電気自動車) に切り替わったら、原発をあと 10 個ほど増設しないと電力が間に合わないと言われている。それに加え、これからの AI 社会を支える電力も必要となると、日本はますます世界から置かれていく貧しい国になっていく可能性が高い。私は原発の反対派でも推進派でもどちらでもないが、もう電気のない生活には戻れない。ホルムズ海峡の件もしかり、エネルギー資源に乏しい日本は、自国で発電できる原発が一番コスパがいいのであれば、原発を積極的に稼働するのが現実的なのだろう。そして「ITER (イーター)」のような核融合発電の早期な実用化を願っている
◆私個人としても、生成 AI になるべく丁寧語や余計な質問をしないで、電力消費抑制に貢献するとしよう (笑) ◆ Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2026.05.02 おかじょうき川柳社本社 5 月句会

【日時】令和 8 年 5 月 2 日 (土) 午後 2 時～【所】アウガ 5 階小会議室【欠席投句締切】5 月 1 日 (金) 15 時【宿題】(各題 3 句詠)『目力』『尾』『自由詠』【席題】(1 題 3 句詠・2 人共選)。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選 1 句『大豆』【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moritatakeiko@gmail.com 守田啓子宛

□ 2025.5.20 ✕ おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5 句

【締切】5 月 20 日必着【提出】雑詠 5 句、お気に入り 1 句 (最新号からお好きな作品 1 句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】7/1 発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moritatakeiko@gmail.com 守田啓子宛

□ 2026.05.20 『川柳吟行会ぼ』合評句会

【日時】令和 8 年 5 月 20 日 (第 3 水曜日) 14 時～【場所】青森駅前アウガ 5 階【課題】「八戸市史跡根城の広場」の写真で作句【参加費】100 円 ※会員以外の方も参加可

□ 2026.06.06 おかじょうき川柳社本社 6 月句会

【日時】令和 8 年 6 月 6 日 (土) 午後 2 時～【所】アウガ 5 階小会議室【欠席投句締切】6 月 5 日 (金) 15 時【宿題】(各題 3 句詠)『閃々』『加』『自由詠』【席題】(1 題 3 句詠・2 人共選)。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選 1 句『ハンマー』【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moritatakeiko@gmail.com 守田啓子宛



おかじょうき川柳社：誌上句会

0番線

- OKAJOKI ZERO LINE -

課題と選者（2句詠・共選）

題：『**ぺ**』

7/31 〆切

選者

まつりぺきん (大阪府)

むさし (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

投句フォームを開く

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

メールで投句する

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。